



健康・福祉・介護のひろば

問合せ 健康福祉課 ☎66・3111 健康担当132・133 福祉担当134・135 介護保険担当124 地域包括支援センター128

「あらためて、新型コロナウイルス感染症をひろげないために」

暑くなり、マスクもはずしたい今日このごろですね。また、夜も暑く、みんなで集まって飲んだり食べたりをしたくなる時期でもあります。あらためて、どんな場面に気をつけるとよいかをお伝えします。

◆ 感染リスクが高まる「5つの場面」

場面①：飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍くなり、大きな声になりやすい。
- ・特に、敷居などで区切られている狭い空間に長時間、大人数が滞在すると感染のリスクが高まる。
- ・また、回しのみや箸などの共用が感染のリスクを高める。

場面②：大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば、5人以上の飲食では、大声になり、飛沫が飛びやすくなるため、感染のリスクが高まる。

場面③：マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

※夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

場面④：狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり、閉鎖空間が共有されるため、感染のリスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共有部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤：居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所の切り替わりと、気の緩みや環境の変化により、感染のリスクが高まることがある。
- ・休憩所、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

新型コロナウイルス感染症は、3密（密閉・密集・密接）の環境で感染リスクが高まります。1つの密でも避けて、「ゼロ密」を目指しましょう。

問合せ 健康福祉課 健康担当 ☎66・3111 内線132、133

更生相談

身体障害者の更生援護に必要な専門的な知識・技術についての相談及び指導を実施しています。補装具の処方及び適合判定、施設入所の判定、その他医療相談を無料で受けることができます。

（手足・体の障害の相談）

- ・8月23日(火) 秩父福祉事務所
- ・予約制ですので、早めに健康福祉課へご連絡ください。

問合せ 健康福祉課 福祉担当
☎66・3111
内線135

簡単な手話を覚えましょう【第29回】

「海」の手話表現



立てた右手小指の指先をくちびるにあて右へ少し動かします。この表現には「しよっぱい」という意味もあります。



次に、手のひらを上に向けた右手を右方へ波打たせませます。この表現には「水」という意味もあります。



動画はこちらから

協力：ちちぶ広域聴覚障害者協会
担当：健康福祉課 ☎66・3111